

とちぎ発

# 元気農業

ふるさととちぎ21活性化塾だより



平成25年

55号



とちぎ 6次産業化交流会



藤井 6次産業化プランナーによる講演

平成25年1月23日、宇都宮市のマロニエプラザにおいて、県内で6次産業化に取り組む農業者の事例報告や、農業者と食品事業者等の異業種交流を目的に、今回初めて、「とちぎ6次産業化交流会」を開催しました。

交流会には100名を超える参加者があり、6次産業化プランナーの藤井大介氏による講演及び国の6次産業化の認定を受けた3名の若手農業者による事例発表を熱心に聞き入っていました。

## 目次

- 2 栃木ブランドを総合的にプロデュース
- 3 平成24年度経営構造対策推進事業研修会の開催
- 4 青年農業者を対象に6次産業化実践塾
- 5 平成24年度ふるさととちぎ  
写真コンテスト優秀作品
- 6 平成24年度ふるさととちぎ  
農業・農村児童画コンクール優秀作品
- 8 平成24年度「つなごう！食と農実践講座」を開催



## 栃木ブランドを総合的にプロデュース 進化するろまんちっく村の取り組み

宇都宮市農林公園ろまんちっく村は、宇都宮市の北西部、国道293号線沿いにあります。平成8年に開設後、昨年9月には「道の駅うつのみや」としてリニューアルオープンしました。46haの広大な敷地に、農産物の直売所を始め地産地消レストラン、地ビール工房、体験農園、温泉、プール、ポケットパーク、にぎわい広場など数多くの施設があります。年間の来場者は約100万人で、農業・農村の振興はもとより、地場産品の販路拡大や観光客の誘致など、地域の活性化施設として大きな役割を果たしています。

ろまんちっく村が所有する施設のうち、市民農園、地ビールレストラン、堆肥製造プラントは、平成8年に国の経営構造対策事業を活用して整備したもので、市民農園については市民が手軽に農業とふれあう場として、また地ビールレストランについては宇都宮産ビール麦を使用した本格的な地ビール製造施設として、さらに堆肥製造プラントについては公園内で発生する生ゴミや落ち葉を堆肥化する施設として、有効に活用されています。

平成20年から導入された指定管理者制度によって、現在、施設の管理・運営は株式会社ファーマーズ・フォレストが行っています。同社では松本謙社長を中心に、当該施設を「体験型スローライフパーク」として位置づけるとともに、「農業と食、地域資源を結ぶ総合プロデューサー」としての役割をめざしています。そのため、市民や来場者に感動を与えられるような取り組みにチャレンジしており、例えば「食」の面では、旬の地場野菜にこだわったメニューの提供や国産小麦を使った天然酵母パンの製造・販売を行っています。また最近では、県内各地の選りすぐりの農産物や加工品をカタログにした「トチギフト」によるクロスメディアでの販売と情報発信や、第二種旅行業を取得して、周辺地域との連動による着地型旅行やグリーンツーリズムの推進、さらには道の駅のオープンを契機に、旬の農産物や切り花、加工品、各種土産品を「あおぞら館」に一元化し、魅力ある商品や地域の発信を総合的に行っております。



メインゲート



あおぞら館

ファーマーズ・フォレストでは、今後も安らぐ里山の農村公園として、本県の優れた農産物や特産品を売り込む拠点施設として、そして県内外の観光客を温かく迎え入れる食の殿堂、地域の6次産業化を推進する中核拠点として更なる発展をめざしています。



ろまんちっくファーム



## 平成24年度経営構造対策推進事業研修会の開催

経営構造対策事業等で整備した施設等の効率的・効果的な運営を確立し、施設等の健全な運営管理を図るために研修会を開催しました。

研修会には事業実施主体や農協、市町、県等の関係者の参加をいただき2月1日(金)に開催しました。

### ◇事務研修「経営構造対策事業等で取得した施設等の財産管理上の諸手続について」

研修内容は、最初に県農政部農村振興課の阿部副主幹から事業で整備した施設等で、事業主体の何らかの事情により財産処分や模様替えを行う場合には、適正な諸手続が必要であることについて説明を受けました。

### ◇事例研修「道の駅しもつけの経営戦略について」

続いて事例研修として、道の駅しもつけの後藤取締役支配人から、当駅は開業2年目とオープンして間もない道の駅ですが、顧客満足度を高める、とりわけ女性に愛される道の駅を目指すために戦略的に展開している取組の事例等について、館内の営業状況の見学と貴重なお話を伺いました。



講師：栃木県農政部農村振興課 副主幹 阿部 恒久 氏



講師：道の駅しもつけ 取締役支配人 後藤 勲 氏

### ◇講演「都市農村交流施設の活性化と農業戦略」

また、「株式会社ただいま取締役社長の佐藤翼氏」を講師として招いて講演をいただきました。

講演の内容は、都市農村交流事業はお客さんに感動や喜びさらに普段できない体験を提供できるように企画運営を行うことが大切である。

都市農村交流の中核である道の駅等は、新鮮でユニークな商品に加えてプラスαのサービスをいかに提供するかが重要であることから、全国で取り組まれている事例について詳細に説明をいただきました。

最後に、お客さんに地域の食や文化についての想いと風土を伝えるためにも、関係者と一体となった道の駅等の新たな取組が、地域を元気にすることを期待して講演を終了いたしました。



講師：株式会社ただいま 取締役社長 佐藤 翼 氏



## 青年農業者を対象に6次産業化実践塾

栃木6次産業化サポートセンター（公益財団法人栃木県農業振興公社）では栃木県と共催し、本年度初めて「とちぎ6次産業化実践塾」を開講してきましたが、2月7日に最終回を迎え終了しました。この塾は、本県農業を魅力ある産業として、また収益性の高い産業として発展させるため、6次産業化をめざす青年農業者（概ね40歳までの男女）を対象に実施してきました。

塾長には(株)ファーマーズフォレスト代表取締役社長松本謙氏に御就任いただき、昨年の9月から毎月1回、主にとちぎアグリプラザを会場に研修を行ってきました。研修の内容としては、「売れる商品づくり」を始めとして「商品設計・ブランディング戦略」や「販路開拓のテクニック」など、毎回テーマをしぼり、一流講師陣による講話とグループ別の事例研究を行いました。また、10月には山形県村山市に出向き、農業生産法人(株)山形ガールズ農場を視察し、女子が始めた農業ビジネスの取り組みを研修しました。

さらに、第6回（最終回）講座終了後には、受講者がそれぞれに開発した商品を持ち寄り、6次産業化プランナーらと交えて交流会を行いました。受講者はこれまでの研修を振り返り、「6次産業化を進めるための実践的な知識、手法が学べた」「ここで学んだ6次化のノウハウを今後のビジネスに生かしたい」と意欲を燃やしており、今後の活躍が大いに期待されます。



第1回（売れる商品づくり）



第2回研修（山形ガールズ農場視察）



第3回研修（商品のデザインづくり）



第5回研修（FCP商談会シート作成）



## 平成24年度ふるさととちぎ写真コンテスト優秀作品

栃木県、栃木県土地改良事業団体連合会及びふるさととちぎ21活性化塾の共催により、第19回美しいとちぎのむら写真コンテストを開催したところ、県内の中学生・高校生から163点の応募がありました。昨年12月に審査を行い、次の作品が最優秀賞・優秀賞に選ばれました。

### 農業に生き生きと携わる人々の部門

#### 最優秀賞



鹿沼市立粟野中学校 3年 益子 大輝さん  
「休」

#### 優秀賞



真岡市立長沼中学校 1年 柴山 汐里さん  
「よいと！」



真岡市立長沼中学校 2年 山井 彩菜さん  
「100メートルの道のり」

### 農地、水、農村環境を守る活動部門

#### 最優秀賞



真岡市立長沼中学校 1年 石崎 彩香さん  
「おいてきぼり」

#### 優秀賞



那須塩原市立日新中学校 3年 人見 梨奈さん  
「観察開始」



小山北桜高等学校 2年 田中 麻梨さん  
「田植えの指導」



# 平成24年度（第21回）ふるさととちぎ 農業・農村児童画コンクール優秀作品

栃木県とふるさととちぎ21活性化塾（事務局：（公財）栃木県農業振興公社）の主催による児童画コンクールに、県内の小学生から1,117点（166校）の応募があり、審査の結果入賞作品39点が選ばれました。

平成24年11月17日、とちぎアグリプラザ（宇都宮市一の沢）で開催した「アグリプラザまつり会場」で表彰式を行いました。また同会場と10月20・21日に栃木県庁で開かれた「とちぎ食と農ふれあいフェア2011会場」で優秀作品を展示しました。

## 低学年（1・2年生）の部



最優秀賞  
（栃木県知事賞）

大田原市立  
黒羽小2年  
松浦 朱里さん  
「農村の  
風景（収穫）」

優秀賞（栃木県教育長賞）



低学年受賞者

優秀賞（栃木県農政部長賞）



真岡市立長田小2年 仙波 空さん  
「どろんこたうえ たいけん」



宇都宮市立瑞穂台小2年 佐々木 薫さん  
「ひかりの中のいちごはたけ」

## 中学年（3・4年生）の部



最優秀賞  
（栃木県知事賞）

鹿沼市立  
石川小3年  
石川 海凧さん  
「かぼちゃと  
なすのしゅうかく」



中学年受賞者



優秀賞（栃木県教育長賞）



野木町立 南赤塚小4年 平野 恵里香さん  
「さといも畑で草取りだ!!」

優秀賞（栃木県農政部長賞）



大田原市立 黒羽小4年 小室 光さん  
「たねまきの風景」

## 高学年（5・6年生）の部

最優秀賞（栃木県知事賞）



那須塩原市立 埼玉小6年 保科 皆好さん  
「野菜畑」

優秀賞（栃木県農政部長賞）



上三川町立明治小6年 森 響さん  
「おいしい梨がとれたよ」



優秀賞  
（栃木県教育長賞）

那須塩原市立  
東小5年  
渡辺 袖月さん  
「新鮮トマトの収穫」



高学年受賞者



## ～とちぎの豊かな食と農の理解の輪を広げよう～ 平成24年度「つなごう！食と農実践講座」を開催

- 当会社では、とちぎの豊かな食と農の理解の輪を広げるため、平成22年度から「つなごう！食と農実践講座」を開催しております。
- 3回目となる今年度のテーマは、「知って・見て・体験して・そして、楽しく食べて食と農の理解を深め、伝えましょう」で、9月から「食」「農」「地域」「環境」に関する計9回の楽しみながら学べる講座を開催しました。
- 本講座の大きな特色として、楽しく受講していただくため、受講者どうしのコミュニケーションを促進させるための講座（演習）や講座で学んだ知識や得た情報などを伝えるためのノウハウを習得する講座（ワークショップ）も盛り込むなどの工夫を凝らしています。
- 多くの受講者から「食を通じて人とつながる大切さを感じた」「どの講座もとても勉強になった」等ご好評をいただいております。
- 今後とも、当社が実施する食と農の理解促進に向けた取組に御理解と御支援をよろしくお願いいたします。



9月13日 (木)  
とちぎの食と農の絆づくりについて知る



9月24日 (月)  
とちぎの農村の自然環境について知る・見る



10月3日 (水)  
お米と食料自給率について知る



10月17日 (水)  
とちぎの若手農家の取組について知る



10月31日 (水)  
とちぎの麦をおいしく食べる



11月14日 (水)  
とちぎの野菜をおいしく食べる



11月28日 (水)  
食べる花。エディブルフラワーを体験する



12月12日 (水)  
とちぎの魚の神秘を体験する



12月20日 (木)  
とちぎの食と農の知識や情報を地域へ“伝える”

とちぎ発 元気農業 ふるさととちぎ21活性化塾だより55号

発行日 平成25年2月20日  
編集・発行 ふるさととちぎ21活性化塾  
所在地 〒320-0047 宇都宮市一の沢2-2-13  
(公財)栃木県農業振興公社内

TEL 028(648)9511(代) FAX 028(648)9517  
URL : <http://www.tochigi-agri.or.jp>  
Eメール : [info@tochigi-agri.or.jp](mailto:info@tochigi-agri.or.jp)

